



First US Passport with “X” Gender Marker

偽りの自分にサヨウナラ 米国で性別「X」のパスポート誕生



米パスポートの表紙には、右足に平和を意味するオリーブの枝、左足に戦争を意味する矢を握る国鳥ハクトウワシが描かれている

これだけは覚えておきたい!!

milestone [maɪlstoʊn]	大きな節目、画期的な出来事
issue [ˈɪʃuː]	～を発行する
reiterate [riːɪtəreɪt]	～を繰り返して言う、あらためて言う
promote [prəˈmou̯t]	～を促進する、奨励する
dignity [dɪˈɡnəti]	尊厳

聴くこと、声に出すことが成長への近道!

🎧 編集長おすすめトレーニング

Practice 1 英文を見ずに、CNNの生英語 (7) を聴いてみよう。

音声のダウンロード方法はpp.120-121をご覧ください。

※2021年4月号よりパソコンでの音声ダウンロードはaudiobookではなく、弊社ウェブサイトを使ったサービスに移行しました。

Check!

Practice 2 英文を見ながら音声を聴いてみよう。

必要ならゆっくりスピード (ポーズなし (8) / ポーズ入り (9)) も活用してみてください。

Practice 3 日本語訳を参考に内容を理解し、音声を繰り返し聴いて耳を慣らそう。

さらに、音声をまねながら音読すると、吸収力がグンと上がります。

プラスアルファ 余力のある方は、別冊付録の問題集にチャレンジ!

First US Passport with “X” Gender Marker

Well, the US State Department has announced a major milestone in supporting equality for all Americans. The agency has issued the first US **passport** with an “X” gender marker for nonbinary, intersex and gender-nonconforming people. In a statement Wednesday, the department reiterated its commitment to promoting the freedom, dignity and equality of all people.

≫54 words (October 28, 2021)

偽りの自分にサヨウナラ 米国で性別「X」のパスポート誕生

さて、アメリカ国務省は、全国民の平等を支援する上で大きな一歩となる出来事を発表した。同省は、ノンバイナリー、インターセックス、ジェンダーノンコンフォーミングの人々のために、性別欄に「X」と記載されたパスポートを初めて発行した。水曜日に発表された声明では、同省はすべての人の自由、尊厳、平等を推進するという公約をあらためて述べた。

(訳 石黒円理)

リスニングのポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せないので、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

オーストラリア英語には、
アメリカ英語とは異なった母音を用いる語がある。
2行目の **passport** ≫ [パスポート]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。
また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

オーストラリア英語には、アメリカ英語とは異なった母音を用いる語があります。例えば、**passport** の **pass-** の部分の母音は、アメリカ英語では、**bag** や **map** の母音と同じですが、オーストラリア英語では、**palm** や **spa** の母音（オーストラリア英語では、日本語の「アー」によく似た長母音）と同じです。このような母音の違いは、すぐ後ろに [f] の音、[s] の音、th の音などが続く語に多く見られます。例えば、**after** [アフター]、**ask** [アースク]、**bath** [バース]、**broadcast** [ブロードカースト]、**can't** [カーント]、**class**

[クラス]、**craft** [クラフト]、**fast** [ファースト]、**glass** [グラス]、**half** [ハーフ]、**laugh** [ラフ]、**mask** [マスク]、**past** [パースト]、**path** [パース]、**rather** [ラーザー]、**staff** [スタッフ]、**task** [タースク] などがそうです。また、オーストラリア英語では、**advantage**、**chance**、**dance**、**demand**、**example**、**plant** などでも、**palm** や **spa** の母音を用いる話し手があります。

解説 南條健助（桃山学院大学国際教養学部准教授）